



五木村議会だより

No.100

2012年(平成24年)4月27日発行

やあめ

題字：尾方 芳郎氏



創刊時の頭地地区 (昭和62年)



(もくじ)

- ・「見やすく」「わかりやすく」「読みやすく」… 2
- ・議会だよりの歴史…………… 3
- ・再建にどう活かすか29億円 …… 4～6
- ・村道松尾野線現地調査…………… 7
- ・人口の増加対策は(一般質問) …… 8～16
- ・100号記念に寄せて …………… 17
- ・シリーズ五木村の宝 …………… 18



現在の頭地風景 (2012年4月12日撮影)

「見やすく」

「わかりやすく」

「読みやすく」



五木村議会議長
田山 淳士

ました歴代の議会事務局長にも敬意と感謝を申し上げます。

五木村議会だより「やまめ」の100号発刊を記念しまして一言ご挨拶申し上げます。

昭和62年8月15日に創刊号が発行されて早25年目を迎えました。発行された当初の紙面を見ますと、発行のたびにお詫びの文章や訂正文などが多く見られます。また、一般質問などの記事也非常に長く、1人で何ページに及んだりしています。以後25年間、1回も休むことなく100号の発行を迎え、広報委員会の皆さんの苦労に感謝しますと共に、これまで大変お世話になり

私自身も広報委員を務め

ましたが様々な苦勞が思い出されます。広報の研修会では、「小学生でも見やすく、わかりやすいような文章を」とか「表紙の写真は動きのあるものを」など、他にも

専門的な技術も要求されます。今後議会だよりの発行に当たっては、「見やすく」「わかりやすく」「読みやすく」を合言葉に頑張っていきますので、村民の皆さまも紙面へのご参加とご協力をお願い申し上げます。

最後にこれから連休を迎え、「新緑祭り」など、色々慌ただしくなりますが、村民の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念しまして挨拶と致します。



土肥 啓資

五木村議会だより「やまめ」100号を迎えられおめでとうござ

います。昭和62年8月15日発行第1回「議会だより」創刊号の時を振り返ってみますと、時代の変革が思い出されます。当時の議会は議場もなく、旧役場2階の大会議室で議会開会の時だけ、机を並べ議席を作り会議を開いていました。議場にはもちろん傍聴席もなく、村民の傍聴者もいませんでした。

村民の皆様と信頼関係を築くため、議員はどうあるべきかを議員間で話し合い村民の方へ少しでも議会活動を知っていただくため議会だよりを発刊する事と致しました。編集委員3名の方も議会広報紙は初めてで指導研修も受けた事もなく編集には大変、苦勞されました。

昨年度から導入されました全国初の議員成果報酬制度、議会議員の住民との意見交換会の実施、議員各位の「活発な行動、競争意識」で村民のために頑張ってください、今後の議会活動にご期待いたします。



山下 照公

議会だより創刊号を発行して早いもので25年が経過し

ました。

新人議員研修で議会だよりの紹介があり、本村でも取り組んではどうかと会議に諮り、「やろう」と言う事で当初3名の議員で編集を始めました。

まだ県内市町村ではめずらしく、郡内でも数町村でした。

文章も見よう見真似ですべて手書きで印刷会社へ送り、苦勞したことを思い出します。創刊号に対して文章あるいは、まとめが不馴れなため議員各位から、非難続出で取りやめの危機もありましたが「忍の一字」で続け今日に至っていると思います。

現在では読みやすく広報委員も努力されております。どうぞ今後ともご愛読頂きますようお願い申し上げます、創刊号にたずさわった議員として御挨拶申し上げます。

議会だよりの歴史

- ① 村の人口
- ② 村の世帯数
- ③ 村の当初予算
- ④ 議員定数
- ⑤ 村の主な出来事



創刊号 昭和62年8月15日
「いつき議会だより」



創刊号 表紙

〈委員〉
・田山 藤徳
・吉松 保
・山下 照公

- ① 2、362人
- ② 737世帯
- ③ 16億9、897万円
- ④ 14名
- ⑤ 林業センター研修集会施設落成（62年3月）
（工事費83、779千円）
・学術調査発刊（人文編、自然編）
（昭和53年～62年約10年を経て発刊）
・生活再建優遇措置（条例制定）

平成2年10月3日「議会です こんにちは」



「議会です こんにちは」表紙

〈委員〉
・照山 哲榮
・吉松 保
・田山 藤徳
・黒木松次郎

- ① 2、229人
- ② 711世帯
- ③ 20億1、585万円
- ④ 12名
- ⑤ 平成3年1月1日より役場の土曜閉庁始まる。
・入鴨地区給水施設完成。

34号 平成8年1月3日「やまめ」になる。



34号 表紙

〈委員〉
・吉松 保
・田山 淳士
・宮本 巖
・福岡 勇
・山下 照公

- ① 1、875人
- ② 636世帯
- ③ 24億3、699万円
- ④ 12名
- ⑤ 議会に林業活性化議員連盟を結成。

45号 平成10年7月「やまめ」



45号 表紙

〈委員〉
・田山 淳士
・淀川 英二
・山下 照公
・田中 雄士
・福岡 勇

① 1、793人

② 626世帯

③ 26億4、900万円

④ 12名

- ⑤ 政治倫理条例可決
・やまめ養魚場設置工事
・景観条例制定

46号 平成10年10月
題字を尾方芳郎氏に依頼「やまめ」となる。



46号 表紙

〈委員〉
・田山 淳士
・淀川 英二
・山下 照公
・田中 雄士
・福岡 勇

- ① 1、793人
- ② 626世帯
- ③ 26億4、900万円
- ④ 12名
- ⑤ 北朝鮮弾道ミサイル発射に対して意見書を提出。

72号 平成17年4月
議会だより全国コンクールで奨励賞を受賞



72号 表紙

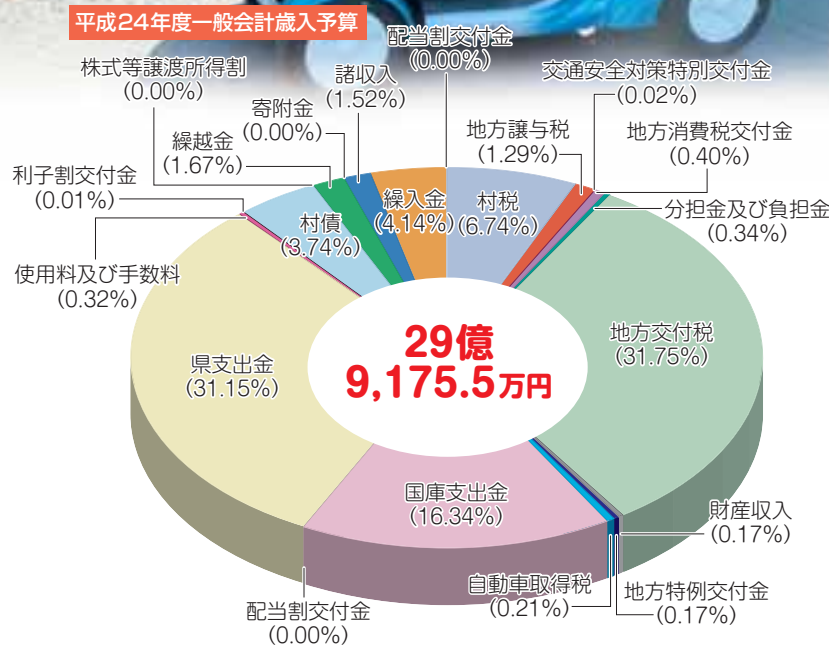
〈委員〉
・岩本 員功
・山下 照公
・照山 哲榮
・木下 文二
・早田 吉臣

- ① 1、568人
- ② 576世帯
- ③ 21億6、395万円
- ④ 12名
- ⑤ 議会で住民意見交換会を実施

こんなことが
決まりました

を可決

(電動カート紹介の様子)



平成24年度一般会計歳入予算 (単位：万円)

歳入	平成24年度	歳入	平成24年度
2 地方譲与税	3,860.1	13 国庫支出金	48,888.2
3 利子割交付金	28.0	14 県支出金	93,192.1
4 配当割交付金	7.4	15 財産収入	511.4
5 株式等譲渡所得割	3.0	16 寄附金	0.2
6 地方消費税交付金	1,200.0	17 繰入金	12,392.1
7 自動車取得税	630.0	18 繰越金	5,000.0
8 地方特例交付金	500.0	19 諸収入	4,554.9
9 地方交付税	95,000.0	20 村債	11,190.0
10 交通安全対策特別交付金	50.0	合計	299,175.5 (前年3.3%増)
11 分担金及び負担金	1,024.6	前年度対比	50,126.0
12 使用料及び手数料	964.6		

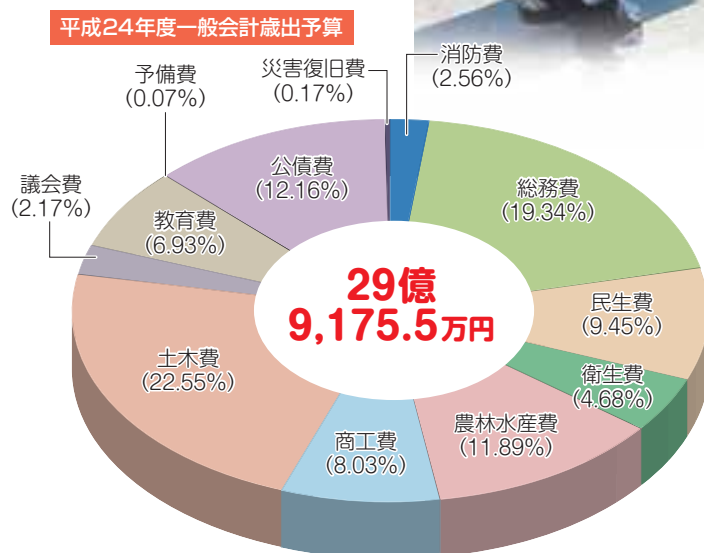
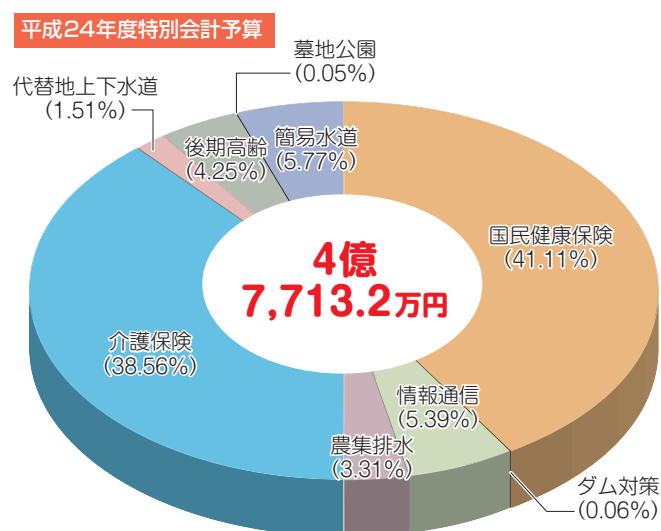
平成24年第1回定例会が、3月12日から16日までの会期で行われました。23年度の各会計補正予算9件、諮問案件1件、条例廃止案件2件、条例の一部改正する案件8件、条例制定案件2件、指定管理者の指定案件1件、人事案件4件、工事請負契約の締結案件2件と平成24年度の各会計当初予算の10件の合計39件が提案され慎重審議の中、賛成多数で全案件原案のとおり可決しました。

五木村再建にどう活かすか29億9千万円！

新年度予算

平成24年度当初予算

定例会会期中に全員協議会を開き
24年度予算を慎重審議した。



平成24年度特別会計予算 (単位：万円)

会計別	平成 24 年度
1 国民健康保険	19,615.8
2 ダム対策	30.2
3 簡易水道	2,752.5
4 農集排水	1,578.4
5 介護保険	18,397.7
6 代替地上下水道	718.3
7 後期高齢	2,026.0
8 墓地公園	23.7
9 情報通信	2,570.6
10 診療所	廃止
合 計	47,713.2 (前年 3.3%増)

平成24年度一般会計歳出予算 (単位：万円)

会計別	平成 24 年度	前年度比較
1 議会費	6,495.2	468.1
2 総務費	57,846.0	16,843.4
3 民生費	28,285.5	3,278.4
4 衛生費	14,005.0	1,238.3
5 農林水産費	35,575.1	△ 6,719.5
6 商工費	24,019.3	16,373.6
7 土木費	67,459.3	17,132.2
8 消防費	7,667.1	186.5
9 教育費	20,729.0	5,527.6
10 災害復旧費	502.7	301.2
11 公債費	36,391.3	△ 4,503.8
12 予備費	200.0	0
合 計	2,991,755	

平成24年度予算の主な事業内容（一般会計）

（単位：千円）

総務費	ダム対策費	川辺川基本高水検討委託	3,000
	企画費	小水力発電流量調査業務委託	5,000
		水没予定地暫定利用検討業務委託	77,000
		旧北小学校周辺整備工事	11,200
	生活交通対策費	コミュニティバス等運行業務委託	4,916
	地籍調査費	地籍調査事業	136,272
民生費	社会福祉総務費	地域人材育成事業委託（介護従事者育成）	13,383
	老人福祉費	電動カート貸出事業	2,616
		シルバー人材センター運営費助成金	4,800
	障がい者福祉費	障がい者福祉事業	60,195
	子育て・定住支援費	子ども医療費・保育料軽減・集落内道路等整備等各種助成金等	13,433
	児童福祉費	子ども手当	10,850
衛生費	保健福祉総務費	AED設置事業	5,345
	予防費	がん検診委託料	13,250
	環境衛生費	飲料水供給施設改修設計業務委託	10,000
農林水産業費	農業振興費	農業振興補助金	5,023
		五木産ソバ活用推進助成金	920
	林業振興費	シカ・サル有害捕獲助成金	17,100
		林業振興補助金	21,335
		椎茸生産団地化助成金	3,606
		その他補助金等（森林整備・作業道開設・高性能機械導入等）	37,428
商工費	商工振興費	地域振興券発行助成金	5,294
		商工振興助成金（起業支援・雇用拡大・雇用維持奨励等）	15,000
		特産品開発支援助成金	50,000
	観光費	観光施設等整備委託	20,000
		観光案内看板設置工事	5,000
		観光協会助成金	18,000
土木費	道路維持費	温泉施設・空調・機械設備改修工事	80,000
		道路維持修繕測量設計・管理委託	29,319
	道路新設改良費	村道維持修繕工事	15,000
		道路測量設計・地質調査委託（葛の八重・折立）	15,000
	住宅管理費	道路改良工事（九折瀬・葛の八重・鶴・白滝・折立・白岩戸）	529,500
		村営下梶原・小鶴B住宅取壊工事（入居希望なし住宅）	5,000
消防費	消防総務費他	消防団再編に伴う経費（備品購入等）	6,054
		ヘリポート整備費（備品購入）	1,000
教育費	義務教育振興費	子ども夢創造芸術イベント委託	3,000
	教育委員会管理費	学校ICT教育機材購入	24,786
		五木東小学校舎関係工事（外壁・照明・漏水修繕）	25,102
	交流施設管理費	備品購入（宮園交流館）	6,078

追跡

あのことは
どうなった？



消防団の再編と自主防災組織の取り組みは。

木下議員（平成18年9月一般質問）

総務課長答弁 平成21年までに組織の見直しをしたいが団員確保とのバランスも考慮したい。

団員確保とOB団員を活用した団の再編は。

早田議員（平成22年6月一般質問）

村長答弁 消防団の再編とOB団員の件も多方面から検討する。

消防団の現状認識は。

中村議員（平成23年3月一般質問）

村長答弁 現団員の確保に努め継続したいが再編も考えなければならない。

消防団の再編はどうなっているのか。

中村議員（平成23年6月一般質問）

村長答弁 平成23年度中に結論を出したい。

結果 本年3月定例会において条例改正が可決され、平成24年4月1日より、再編された消防団構成にて活動を実施。

消防団組織を改編



平成24年度入退団式



村道松尾野線現地調査

経済常任委員会

調査の経過

24年1月25日松尾野地区から松尾野線改修工事の要望を受け、経済常任委員長他4名の委員、建設課長他1名、議会事務局長、地区代表他1名で道路の現状現地調査を行い、問題点等の協議を行った。

問題点

幅員が狭く普通車の離合も困難で路肩も下っている通学路としては危険であり、野石積もふくらんでおり危険で早急の対策が必要である。

委員の意見

- ・補助事業で整備が必要である。
- ・用地等の問題等地区住民間の意思疎通を図ること。
- ・通学する子供が多く早急な着工が必要である。
- ・工法、ルート選択は担当課で安価な方向で検討されたい。

まとめ

当道路改良整備は長年の懸案事項であり、幅員も狭く通学路でもあり、危険状態であり、産業振興にも寄与できる。委員会としては、地元要望に添って早期着工と完成を目指すよう提言した。

◎平成24年2月23日当委員会で
大分県竹田市のメロディー
ロードの現地調査を行った。



普通車も離合できない村道松尾野線(集落手前)

を問う！

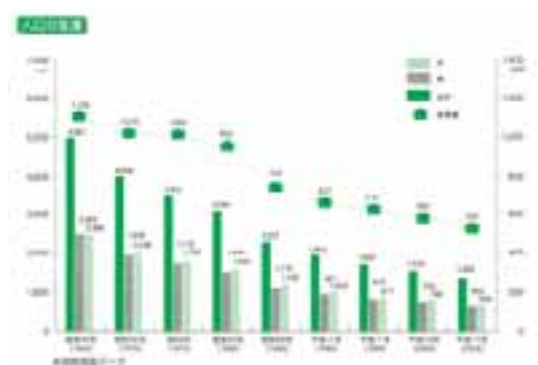
人口の増加対策は

岡本正議員



雇用力をどう増やすかにかかっている

和田村長



五木村人口の統計

芸術的な能力、特殊な技能をお持ちの方、60歳を過ぎて元気な方、意欲ある方をどう呼び込むか、そういうことに取り組みが必要はあるか、そう思う。住みたい方の問い合わせはいただいている。

村長 緊急雇用とふるさと雇用は23年度で終わるが、小規模多機能施設に新たな雇用が生まれた。林業関係では村有林が伐期を迎えるので、年間で10人から20人程度必要になる。道の駅を中心とした商品開発で、材料提供できる方々の雇用を増やしたり、新たな仕事を生み出すことが大事で、議会の皆さんも協議していきたい。

村長 循環型の林業を目指しているが、森林組合の作業班も高齢化しており、それを担う人を育てることが重要になってくる。森林組合が担うべき施業の範囲と取り組みが難しい部分もあるが、それは他の組織で担うことになってくる。10年後、20年後を見据えた計画が必要だと思っているので、今回、村有林やキノコ園については一定の計画を持っているものの総括したものとしては十分でないで、村民も含めて協議を進めたい。

岡本議員 村の振興にとって人口の減少は深刻な問題で、何とか抑止し人口を増やしていかなければならない。村は10年間の重点目標として3世代世帯の数値目標を1500としているが、具体的にどのような取り組みをするのか。

和田村長 人口が減少傾向にあることは否めない、いろんな形で若者の定住促進対策をとっているが、なかなか歯止めがかからないのが現状である。雇用力をどう増やすかにかかっている。基本計画の目標に向かって振

興計画を具体的に展開していく。

質問 若者の定住対策も重要であるが、人を増やす方法をいろんな角度から考えてみる必要がある。人が多いほど活性化できるので、「定年退職、やる気がある人、能力がある人」人材を呼び込む取り組みも必要ではないか。人口の減少は村の存亡にかかわる重要な問題である。今の五木村には行動できる人材が必要と思うが、村長の考えは。

村長 緊急雇用とふるさと雇用は23年度で終わるが、小規模多機能施設に新たな雇用が生まれた。林業関係では村有林が伐期を迎えるので、年間で10人から20人程度必要になる。道の駅を中心とした商品開発で、材料提供できる方々の雇用を増やしたり、新たな仕事を生み出すことが大事で、議会の皆さんも協議していきたい。

村づくり



上野村の調査は

山下照公議員

情報収集はしている

和田村長

山下議員 県の振興基金10億円と負担金50億円、国からの交付金で再建計画を進めるが直接、村民所得と雇用に繋がるような事例として群馬県上野村の振興策を提言したがその後、調査はしたのか。

和田村長 現地調査はまだ行っていないが、インターネットなどで情報収集はしている。他にも新潟県の黒川など事例があるので議会も含めて現地研修をして欲しい。

質問 振興策の核として第3セクターと言われるが、過去3人の「道の駅」の駅長が交代した。やはり「道の駅」が最良なのか駅長の任命も含めてどうしたいのか。

村長 過去の駅長は一生懸命赤字を黒字にしたいと努力されたが、五木の実情や地形、情報不足などもあり現在、不在となっています。24年度予算可決後、

取締役会で協議しリスクも負いながらも「道の駅」でやりたい。

質問 五木ブランドとしてソバの買取りを計画され特産品化をめざしているがソバ以外に何か考えているのか。

村長 ソバ以外にキノコ類、試験栽培をしている万次郎カボチャ、ユズ製品等、水質日本1位の産地の製品として付加価値のある商品をつくり農業法人化も考え生産物の買取りも進めていきたい。

質問 道の駅の販売品は2〜3割が五木村産であると思うが、その割合を3割から4割へと引き上げるような考えはあるのか。

村長 日持ちする商品開発が必要だと思っている。日本一の水質を活かした淡水魚等の商品も含めて商品開発とブランド化を進め数値目標達成に力を注ぎたい。

●人吉高校五木分校の専攻科について

質問 県立高校の再編や少子化でどの高校も定員割れの状態であるが人吉高校五木分校の存続が危惧される。分校に専攻科の設置について提言したいが村長はどうか。

村長 人吉球磨の高校再編状況は結論が出ていない。五木分校の専攻科の設置は県の教育委員会の方での位置づけとなっている。

質問 五木分校の特徴は皆勤、奨励賞などを受賞して卒業している。その様な利点を売りにしてそれに加えて専攻科を設置したらどううか。

村長 普通科か専攻科かどちらが良いのか判断しかねる。いろいろな知恵を借りて教育



群馬県上野村 神流川沿いに広がる新緑（ホームページにて）

委員会とも協議したいと思っている。

質問 普通科の中の外国語専攻科を設け小中高一貫教育で家族ぐるみで村内へ定住してもらい分校の存続と定住促進をするような方策はどうか。

村長 特色のある教育を村全体で取り組み将来に活かされる語学は必要と思っているので、定住も期待できるなら知恵を借りながら検討したい。

を問う！

高齢者の住環境と観光施設改善を

藤本議員

住環境、観光施設整備は予算内で

和田村長



藤本議員 高齢化率

41%を超え高齢者の住環境を村長どう認識され、その対策は。

和田村長 高齢者住宅のバリアフリー化、交通コミュニティ今回提案をしている住宅に至る道路開設助成、安全対策を図る助成等提案をしている。

質問 保健福祉課長が以前調査をしての対策と、村長、高齢者の集合住宅の建設が必要と思うが。

村長 高齢者住宅を造った場合、90人位が入居、68・6%の方は今住んでいる所で生活をとの考えではあるが基本方針にある高齢者住宅建設の方向で考えている。

保健福祉課長 2/3の方が自分の家での考えであり在宅での生活の施策も考えており、集合住宅は慎重に進め検討していきたい。

質問 自分の家で生活を考えられているが年々歩くことが困難に成っており玄関まで車の入りこみが出来ない。

い。今回の補助1/2が提案されているが負担が大きく緩和が必要であるが。

村長 庭先まで車が行き電動カー貸し付け、コミュニティバス等組み合わせが必要で予算に限度もあるが多くの方に利用をして頂きたい。

質問 建設課で早く調査をして取り組んでもらいたい。また振興計画の中にも入れてほしいが。

建設課長 条例改正の可決を受けて予算もあり判断してきた。

村長 集落内道路、電動カー貸付、住宅改造等を進めたい。

質問 飲料水供給施設調査は高齢者宅等全部を調査したのか。

建設課長 供給施設のみ調査で全村の調査はしていない。

質問 高齢化で維持管理が困難となってきたので、全村的飲料水対策をする必要があるが。

村長 一定の負担を頂く必要性もあり調査し管理を含めて検討したい。

質問 水と空気はタダとの考えから水道料金を払ってとの考えに成っており「村長」前向きに取り組む約束は。

村長 各自用水を含めて村が行うか、公社、第三セクターで管理等を十分考慮したい。

質問 村内の一人暮らしの方の安否確認の上から商工会の協力を頂き食材の宅配の考えは。

村長 民生委員の方から丁寧な報告を頂いており、商工会では無理とのことで、なんらかの対策が必要と考えている。

保健福祉課長 社協に委託し安否確認と職員が食材、薬まで買ってきてと頼まれる。食

材宅配は地区担当職員で調査し詰めていきたい。

質問 体が不自由な方や高齢者の方が利用しやすい観光施設の改修、

車椅子での



改修が必要な横手公園のトイレ

トイレ、夢唄の段差等観光の村として施設整備が必要であるが。

質問 担当課でトイレ等調査をしたのか。調査して改善する考えは。

村長 観光客は高齢者の方が多く、トイレ等の指摘も受けており予算の範囲で改善をした

い。

ふるさと振興課長 具体的調査はしていない。早急に把握し改善策を検討、再建計画の中で整備したい。

村づくり



基本構想は

山本議員

1日も早く達成したい

和田村長

山本議員 本村は国、県を信じダム建設を前提に取り組んだ。以前策定された五木村基本構想は向う10年を目標に本村再生をテーマに既に3年が経過した。ダムに伴う、本村再生の「特別措置法」の制定が報道されているが、実際はどのようなになっているのか。

和田村長 3年前、当時の前原国土交通省大臣が来村してダム中止に伴う補償法を作ると、五木村民の前で発言しながら、そのまま進んでいない。五木村をモデルにするという報道もあっているが、そのための国の動きはない。我々も非常に不満です。

質問 不満は村民も同じです。この際、民主党の責任ある国会議員に来村を求めて説明させてはどうか。

村長 補償法（特別措置法）ができて、本村の再建に役立つようならばという期待感も心の中ではあったが、民主党の政治家の来村を求めるメッセージは村から発していません。

質問 県知事は新聞でダム解決に道筋をつけたと就任一期の総括していますが、五木村はダムで翻弄されたままで再生への道筋はできていない。村長はこれにどう考えるか。

村長 基本構想の関連では、基盤整備が完成することによってそれを活用し振興が図られる。あと一つは県からの50億円や10億円のソフトの他に単独事業が必要。それをカバーする基金創設が必要であり、これをお願いしたい。



前原国交大臣の来村（平成21年度）



基本構想の冊子

を問う！

県立療養所の誘致は

情報を収集し協議したい

早田議員

和田村長



新潟県立精神医療センター（ホームページより）

早田議員 五木村の少子高齢化対策を精査、効果の検証をされているのか。

和田村長 対策の効果はあったと思います。また、他の市町村と比較しても対策上は劣っていますが、少子化対策については顕著な効果は今のところ至ってはいないという反省はしている。

質問 政策の検証を担当課ではなされたのか。

保健福祉課長 条例を制定した際に平成24年度で行うとしているので今年度、検証を実施します。

質問 少子化対策と高齢化対策とあるが村長としてどちらにウエイトを置きたいのか。

村長 どちらもよろそくに出ないと思う。予算上、医療費等からの負担をいえば少子化対策を1とするなら高齢化対策は3、4の割合になると思う。

質問 少子化対策を行うと高齢化率は下がりますが、村長は家族構成の3世代維持構成の対策はどう考えているのか。

村長 まずは、働く場の確保が1番と考える。

ています。子育てには、ある程度の収入が必要なので思い切った施策をハード・ソフトの組み合わせを勘案し施策を立てたい。

質問 働く場の確保は村内に求めるのかそれとも近隣の町村に求め通勤圏として対策を考えているのか。

村長 両方あっていいと思うが、主体的には村内に住まい村内で生産を上げてもらいたい。希望があれば住宅を提供しながら五木の保育所から中学生になるまでは村内でいてほしいと思う。

質問 企業誘致なら企業進出のメリットもあると思う。村の施策はあるのか。

村長 企業進出は難しいと思う、相談があれば税制上の固定資産税の軽減措置などはしたいが、土地や人材の課題もあると思う。今は商工振興補助金制度を活用してもらいたい。

質問 限界集落の対策として住んでいる方の

子供、あるいは縁のある方の「絆」を活用するような事例もあるがどう考えるか。また、県立の施設として療養所などを誘致したらどうか。

村長 条例にあった施設整備が必要になると思う。施設の可能性、実状の調査などをして長期療養所なのか、それとも森林関係の施設がいいのかまた、他の施設がよいのか情報を収集し議会や審議会で時間をかけて協議をしたい。

質問 定住化対策の空き家対策として、空き家情報登録などをして村が情報を提供するなどは出来ないか。

村長 今回の予算には空き家の情報調査を計上しています。その地域の慣習や行事の情報などの調査および水道や公共交通の情報も提供します。

村づくり



(株)子守唄の里五木の運営強化は

岩本議員

新年度予算が承認されたら十分検討する

和田村長

岩本議員 道の駅の支配人が辞められて4ヶ月が経とうとしているが、第三セクター道の駅は五木村の核として、支配人がいない現状を社長として村長はどう対処するのか。

和田村長 責任者が現場にいて部下を指示しながら営業活動にまい進するのが理想的な姿と思っているが、資金が少なくなっている状況で、新たによそから招へいするのは大変かなと思っている。当面は今いる人に頑張ってもらいたい。新年度予算にアドバイザー経費、商品開発に伴う人件費等計上しているの、認められると新体制について十分検討したい。

質問 来年の4月に頭地大橋が開通予定でマラソンの計画はある様ですが、観光客も相当多くなると思う。年間を通して物産館の商品の充実(五木村産)も課題で、現在週3回の集出荷をしているが、

これを充実する為に各地区を回って周知徹底することは。

村長 五木という自然が豊かな所だという地の条件を生かした栽培方法を追求しながら生産力を増して行く手だてを道の駅でやりたい。集出荷については必要な場所に必要な時に行き体制は組む事は可能で臨機応変に対応できると思っている。

質問 椎茸生産団地、外販、そばの買取り等新たな事業も計画されている、現在の人員体制で可能か。

村長 今の体制では不可能ですので、新年度予算計上は外販の経費も含んで計上している。

●観光協会の今後の対応について

質問 村は22年度から観光協会事務局専任職員を雇用し活動を展開した結果、入込客数も伸びて来たが、観光産業の基盤は弱いので、強化する必要があると振興基金を原資として活動費を助成するとあ

るが、具体的な数値は。

村長 対策として補助にファンクラブの経費、体験型イベント開催に伴う経費等PR活動を行い観光協会がその役割を担っているの、予算計上をしています。

ふるさと振興課長 24年度の観光協会の取り組みの中身としては通常の観光案内、外部への観光PR、いろいろなイベントの開催費、事務局自体の運営費用等も

ちろん人件費を含めたところの運営経費として助成金1800万円を新年度予算に組んでいます。

質問 観光協会はこれから五木村にとって重要な位置付けに



五木村の食の直送便

なると思っっている。再建計画でも平成30年までの予算づけはありますが、観光協会に対する助成について再度伺いたい。

村長 観光協会が収益を得て独立採算での運営はむずかしいので、村で補助金か助成金あるいは観光行政の一役という事で委託、あるいはかやぶき民家の指定管理もあり、これらを組み合わせながら運営をお願いしたい。

を問う！

和田村政1期4年を振り返って

岡本精二議員

4年間で非常に早かった、ダム建設事業が 変改したこと

和田村長



ゲートボール郡民体育祭

岡本議員 和田村政1期4年を振り返ってみて、どのようにお考えをお持ちか。

和田村長 4年間で非常に早かったという思いがあります。一番特徴的なことは、ダム建設事業がこのような状態になるとは想像をいたしておりませんでした。そのためいろいろな施策の展開が求められてきたというのが実感です。

質問 村長は4年前に、五木村の現状を認識されたうえで10項目の政策を掲げ、それぞれに予算等を計上し執行されてきたと思うが、五木村が現在、当時とどのように変わったか、またどのように変わってきたのか。

村長 非常に厳しい状況であったと思います。高齢化

がとどまることなく進みました、村民所得についても実態は伸びていないようです。変ったのは、観光客が多少増えそれによって多少恩恵を受ける人が出てきたと思われる。また、林業においては、波があり、集中的投資される時と、されない時がありましたが、ここ近年はいろんな所にお願いをいたした結果、計画的にほぼ同じ規模程度の投資額が確保され、仕事量については大きな変化はなくなってきたおり作業班の方々には安定した就労の場が出来る。それから、定住促進では、いろんな条例を制定し執行してきましたが、全て目標としていたものが達成できているとは思ってません。その辺は努力が足りなかったと思います。

質問 数字的に見ると、和田村長就任当時、平成19年11月1日現在の世帯数556世帯、人口1,438人、現在平成23年11月1日現在の世帯545世帯(52世帯の減)、人口1,332人(301人の減)と過疎の村の歯止めが止まらない状況である、提案として、人口を毎月1人増やす、そうする

と年間に12人の増、10年で120人の増、1月に1人増やす工夫を考えてみて頂きたい。やはり庁内で思い切った方針を掲げて議論してもらいたいが。

村長 数字はそのとおりと私も認識しております。また、ご提言を頂き有り難うございました。

●2期目の取り組みと、平成24年度の主要施策について

質問 2期目の就任にあたって、8項目の施策を掲げ決意を申されが、1期目の政策効果を検証されたのかどうか。

村長 検証については、それぞれ村民の皆様なり、議会の皆様方がそれぞれの角度から、見ていただいていると思う、私は別に公表するべきものもっていません。基本的には4年前に掲げたものと特に変わっていない。

質問 24年度の重点施策と主要施策について、施策の目標として「誇れるふるさと五木村づくり」と、それに向けた基盤整備ある五木村生活再建計画の実施の初年度である中で、働く場づくり、暮らしづくり、ひとづくりの具体的な内容と、

数値目標が必要ではないか。

村長 社会資本整備交付金等を使い再建計画を図る必要があります。

●社会教育について

質問 「村づくりは人づくり」とあるが、教育長としてどのように考えるか。

教育長 教育、文化、スポーツの振興を図る、社会教育を含めてまず人づくりというのを考えたときに、一番考えなければならぬのは、現在いる小学生、中学生達を、どういうふう育成していくかということを考えていく必要があるのではないかと思います。

質問 以前の学校の先生は地域に溶け込んで、地域の皆様と一緒にやって色々な面に力になっていただいたと思う。現在ではその点がうすれて来ているのではないとおもうが。

教育長 五木村の教育は他の町村に教育に取り組んでいることを表に向かつて、自信をもって発信していきたいと思っています。

村づくり



村の将来像、見通しは

樫木議員

いまのところ一定の基準が無い状態である

和田村長

樫木議員 集落内道路整備事業は、集落内の、道路等の整備のみに限定されているようだが、各集落内においては、整備されたい内容が違ってくると思う。例えば、飲料水供給施設等、あるいは、子供たちが、安心安全で遊べる場所の提供等については、どのように考えているのか。

和田村長 集落内の道路等では、新設、拡幅、舗装、手すりや排水施設などに1/2を助成するもので、条例あるいは規則等でやっている。給水施設等については、今補助事業でやるか、単独でやるかということもあるが、今は一定の基準めいたものが無い状態であります。子供の遊び場等については、私も、よく耳にしているところであり、問題は、小公園的なもので簡単な遊具が置いてある場所等についてですが、代替地内において村が、所有しているところも有れ

ばまだ成っていないところもある。皆さんがよく言われるのが、茅葺民家の周辺にということですが、当地は砂防法上の河川敷の上を占用願いで借り上げたものであり、県の許可、制約等もあり、予算に計上するには至っていない。今後若者が入居し易い住宅の整備をする際にその周辺に併せて作る必要があるのでは、と考えている。

建設課長 集落道路整備等については、一部改正を提案しています。飲料水の供給施設については、1世帯や、2世帯で管理が大変である、というのも聞いています。大規模のものについては国や、村の補助事業等で行っていますが、小規模のものに、対応するにはどのような手立てがいいのか、課内でも検討中で、これが良いと言う具体案が出たら、対応したい。

質問 高齢者や若者あるいは子供たちが、こ

の村で、生活出来て、本当に良かったと思える施策に、なっているのかということなのです。高齢者にとっては安全、安心な終の棲家たりえるかまた、若者には高所得が得られ安心して子育てに励む事が出来、子供たちにおいては、活き活きと将来の希望を描く事を誰もが、出来る、村づくりをしているのかということなのだが。

村長 例えば、県や国の補助を受けてやりました、急傾斜対策事業がありまして、1、2世帯がそこから外れると、なぜ隣まで出来て、うちが出来ないのかということになったりします。国や県、村には一定の基準で対応していきま



下谷住宅の広場

ですので、基準に入らない場合もありえる、それをどう救うかということは大事な事だと考えている。それぞれ、村民の求めておられるものが、多種多様にわたるわけですから、それらをどういうふうに予算に反映して、やっていくかということ、は、大事な事だと思います。これらについては、議会の皆様方と、協議しながらお知恵もいただきながらやっていきたい。

和田村長



その他、防災マップについて質問しました。

100号記念に寄せて



五木村 長
和田 拓也

「やまめ」はこれまで多くの議員各位が「読みやすく、判りやすく、親しみやすい」紙面づくりにご苦労された結果、100号を数えるに至りました。これまで関係された議員各位に感謝とお礼を申し上げます。

議会広報は言うまでもなく、合議体としての議会活動状況、特に議会として決定したことを経緯を含めて、広く住民へお知らせすることでありま

私事ではありますが、広

報発刊初期において数年間、議会広報の編集に係らせて頂きました。限られた紙面の中に、住民の皆様が知りたい情報を的確に掲載することができ

るかに苦心致しました。議会、執行部、住民が正確な情報を共有することとは、最も重要なことでもあります。今後におきましても住民が議会活動を把握し、それを通じて行政全般の動向を知りえる媒体として、議会広報委員の議員各位にご苦労をおかけ致しますが、引き続きより充実した広報誌として発刊されますようお願いと、感謝を申し上げます。

平成23年度の議員活動は…!

評価結果を公開

平成24年4月26日、23年度五木村議会議員の評価が田山議長に評価委員長より提出されました。

この評価制度は「議会改革」の一つとして、平成22年3月定例会で議員提案として賛成多数で可決成立。議長の諮問機関として評価委員会を設け五木村議会議員の1年間の活動を評価して報酬として反映するものです。昨年は成果区分の中に人数のみの公表でしたが、23年度は評価委員の氏名も公開され、評価委員会から成果区分と議員の氏名も公開すると議長に提案され、議会も評価対象を「議員個人」と「議会全体」の評価を両方してもらうことをいれて了承しました。なお評価結果については、委員会の答申後に公開します。

議会の動き (4月～6月)

4月1日	小規模多機能ホーム「五木の友」開所式	4月24日	熊本県町村議長会事務説明会(事務局長)
4月2日	五木中央保育所入園式	4月25日	広報委員会
4月4日	4月定例全員協議会 広報委員会	4月26日	五木村戦没者追悼式
4月9日	五木東小学校入学式	4月27日	球磨郡町村議会事務局長会議 (事務局長)
4月10日	五木中学校入学式 人吉高校五木分校入学式	5月2日	5月定例全員協議会
4月11日	経済常任委員会 広報委員会 4月定例郡議長会(議長)	5月9日	県町村議会議長研修会(議長)
4月13日	球磨郡町村監査委員連絡協議会第24回定期総会(岡本精議員) 球磨地域振興局幹部との懇談会(議長)	5月10日	5月定例郡議長会(議長)
4月18日	広報委員会	5月24日	例月現金出納検査(岡本精議員)～25日
4月23日	例月現金出納検査(岡本精議員)～24日	5月25日	新議員研修会(議員一期生)
		5月29日	第37回全国町村正副議長研修会 (議長、副議長)～31日
		6月6日	6月定例全員協議会 議会運営委員会(予定)
		6月13日	平成24年第2回五木村議会定例会 (予定)～15日

